



学校だより

つよし

—第4号—

令和3年4月26日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

なぜ学校に行かなければならないのか

「なぜ学校に行かなければならないのか」。昨年度、臨時休業があった今ほど、深く考えさせられるのではないのでしょうか。「学校で勉強したことは大人になっても役立つのか」「学校に行かなくても勉強はできるのではないか」等、私も子ども時代に考えたことがあります。

大江健三郎さんは、『自分の木』の下で」の著書の中で、障がいがある長男「光さん」が学校生活を通して成長した姿から、学校に行く意味を、「自分をしっかり理解し、他の人とつながっていく様々な“言葉”を習うこと」ととらえています。ここでいう“言葉”は正確に話したり的確に書いたりすることではなく、自分の心の中にある深く豊かなものを確かめ、それを他の人に伝え、そして自分が社会につながっていく扉となるものです。「光さん」は、「音楽」が、社会とつながっている扉＝“言葉”となりました。学校は、この“言葉”を通じて、人と接するための社交性や社会性を身に付ける場所でもあります。学校では、同級生や先生、上級生や下級生など多くの人との関わりをもちます。そして、協力することを学びます。ルールも学びます。もちろん、様々な理由により学校に行けない状況がある人は、他の場所で学ぶ場合もあるでしょう。ただ言えることは、「学校は社交性や社会性を身に付けるために大変有効な場所」であるということです。

今コロナ禍で、学校は日常生活を取り戻しつつありますが、学校行事については、感染予防の観点から、どのような形で実施できるか状況を見ながら検討する形をとっています。学校行事は、自己肯定感や達成感、実践的社会性を身に付けるのに重要な活動です。1学期は、多くの学校行事が予定されています。「学校に行かなければならない」意味に応えられる活動が少しでも実施できるよう、感染状況が落ち着くことを願って止みません。

5月の行事予定

- 3日(月) 憲法記念日
- 4日(火) みどりの日
- 5日(水) 子どもの日
- 12日(水) 運動会総練習
- 14日(金) 運動会会場設営
- 16日(日) 運動会
- 17日(月) 運動会代休
- 21日(金) 職場体験(6年生)
- 24日(月) 歯科検診(3・5・6年生)
- 26日(水) 歯科検診(1・2・4年生)
- 27日(木) 全国学力学習調査(6年生)
県学力調査(5年生)
- 28日(金) 津吉茶市あいあいショップ



避難訓練

21日(水)に、避難訓練を実施しました。今回は火災による避難の仕方(避難経路や避難場所、おかしもの約束)を、訓練を通して確認しました。



歓迎遠足

23日(金)に、南川原へ歓迎遠足に行きました。遠足では海岸で遊んだり、おいしい弁当を食べたりして楽しみました。遠足後はクリーン作戦をして、海岸やグラウンドの清掃をしました。